



2026 年 7 月

森永乳業販売株式会社

エコキャップ回収運動 活動報告

2020年2月よりデイリーフーズビル（本社ビル）にて開始したエコキャップ回収運動を2022年度より全事業所へ活動を広げ、継続して取り組んで参りました。今回は2025年度の回収実績を集計いたしましたので、ご報告いたします。

○ 活動目的

森永乳業グループの「サステナビリティ中長期計画 2030」で掲げた3つのテーマのうち、「資源と環境」・「人と社会」にフォーカスし、社内のサステナビリティ活動への参加のきっかけとして社員の誰もが気軽に取り組むことができるエコキャップ回収運動を行っております。

さらに森永乳業がコーポレートスローガンに掲げる「かがやく”笑顔”のために」を実現するために、当社ではエコキャップ回収運動を以下のような目的で行っております。

1. 開発途上国へのワクチン支援

回収したキャップをリサイクル会社へ寄付し、そのキャップから製造したリサイクル製品を売却した利益が開発途上国へのワクチン代として寄付されています。

<支援の流れ>

- ① 社員、グループ会社社員がキャップを回収ボックスへ投入
- ② 当社がまとめてリサイクル会社へ寄付
- ③ リサイクル会社で製品化、収益をワクチン購入費として支援団体へ寄付

2. 資源循環と廃棄物の分別促進

ペットボトルをリサイクルする際、キャップやラベルなどの異物が少ないほうがより純度の高い資源として再利用できます。

当社では、キャップを洗浄・分別し、綺麗な状態で回収ボックスに入れることを徹底、本体とラベルは「資源プラスチック」として資源の有効活用や環境負荷の軽減につながると考えています。

3. 社員の環境意識向上と地域貢献

エコキャップ回収活動は、社員一人ひとりが日常的にリサイクルや社会貢献を意識するきっかけとなっています。

社内外の啓発活動として、定期的に回収状況を共有し、理解と協力を促進しています。

○寄付実績

年度	キャップ回収量		ワクチン（人）	CO2削減量※（g）
	数量（個）	重量（kg）		
2022年度	42,950 個	93 kg	47 人	293.0 g
2023年度	58,282 個	126 kg	63 人	398.2 g
2024年度	106,891 個	232 kg	116 人	731.1 g
2025年度	88,840 個	189 kg	94 人	594.1 g
累計	296,963 個	640 kg	320 人	2,016 g

※上記はおおよその数字となります。

※キャップをごみとして焼却した場合に想定される発生量

（キャップ 1 kg で約 3.150 g の CO2 が発生する想定）

○ 今後の目標

- ・エコキャップの回収活動を継続する中で、昨今のペットボトル飲料の価格高騰という要因も重なり、社内ではマイボトルを使用する方が増えキャップの回収量は昨年より減少しております。

しかし回収量が減っても回収率が下がらないように引き続き回収活動への協力を促していきたいと考えています。今後も社員 1 人 1 人が「リサイクル」への意識を高められるよう、取り組んで参ります。

- ・エコキャップ回収運動の目的は当初、リサイクルの促進、CO2 の削減、売却益で発展途上国の医療支援（ワクチンの寄付）の 3 つでしたが、現在ではリサイクルの過程で雇用創出できることが分かり、障がい者・高齢者雇用促進も 1 つの目的として認識し、日々この活動に取り組んでおります。身近な取り組みでも「サステナビリティ活動」として非常に大切だと考えておりますので、今後もエコキャップ回収活動を継続し、積極的にサステナビリティ活動に取り組んで参ります。



以上